

Bさんのプロフィール

職業 IT技術職
性別 男性 年齢 28歳
婚姻 既婚
同居家族 妻・子供1人(3歳)

学生の頃から憧れていた、東京に本社を置くIT企業に就職したBさん。仕事はとても充実していたが、出身県に本社を置く企業がない地域活性化を目的とした事業のために、ITエンジニアを募集していると知り、生まれ育った県に貢献したいと思い、地方移住を考えるようになった。プログラマーとして働いている妻も自然のある環境での子育てを以前から希望しており、二人で働きながら、生活水準を保てるのであれば移住を検討しても良いと言ってくれているので、子供が小学校

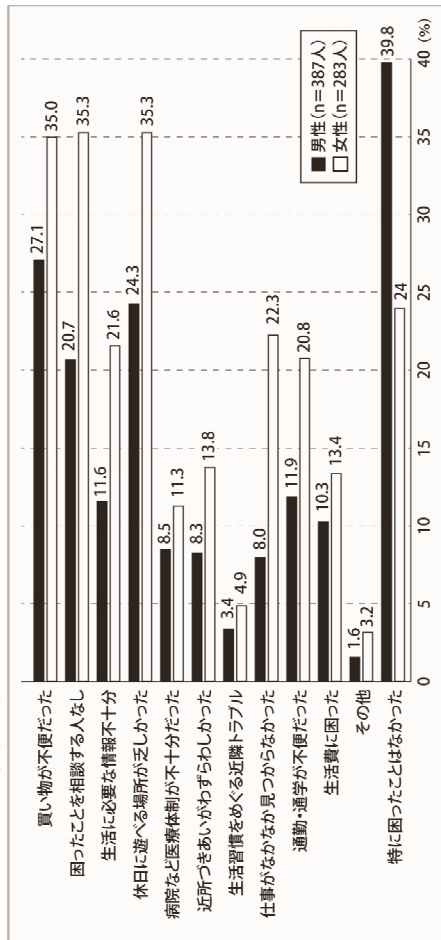
に入学する前には、家族で移住したいと思っている。高校卒業後、上京してから何年も経っているため、住む場所や、どんな生活ができるか具体的なイメージを持つことが難しい。妻の転職のことも考えなければならず、具体的に話を進めるために、どうしたらいいか悩んでいる。妻も働き、社会参画し続けることを望んでいるので、在宅勤務などの就労形態にとられない働き方も視野に入れてこれからの家族の暮らし方について話し合っている。



●Bさんのライフプランニングのために、課題となりえるのはどのようなことでしょうか。下のグラフや文章も参考にしながら読み取り、ワークシートに書きましょう。

地方移住について

■男女別の地方移住当初の苦労について (複数回答) ※移動による移住のぞく



出典：「2016年 地域雇用の現状と課題—若者の定着・Uターン促進のために—」(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

地方移住にかかる費用と生活にかかる費用

移住のためには、引っ越しや移動手段の確保のための車の購入など費用がかかります。3人家族の場合、引っ越し代や車購入費用、住居費用などを合わせると、約141万円もの費用がかかると思われます。しかし、都市部と地方とは、物価や地価が異なるため、家賃や食費、生活費などは、都市部に比べ低く抑えることができる傾向にあります(物価については、地域により異なる)。

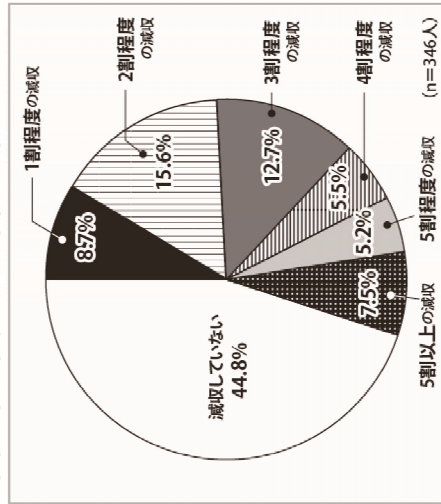
参考：「地方移住」で気になるお金の話」(日本FP協会)／「2018年 小売物価統計調査(構造編)」(総務省統計局)

働き方の選択

仕事と生活の調和を図ることを目指し、近年では、労働時間やパート、正社員などの雇用形態だけでなく、働き方や仕事をする場所も選ぶことが可能になってきています。パソコンや携帯電話などのIT機器を利用して、自宅などオフィス以外の場所で勤務する事業場外勤務(テレワーク)もその一つです。自宅などで会社に出勤するのと同様に勤務することができると、住む場所や生活スタイルが制限されにくく、育児や介護などの自分の生活と仕事を両立できる働き方を選ぶことができるようになってきています。

参考：「テレワーク情報サイト」(総務省)令和元年11月25日Webサイト閲覧

■移住を伴う転職による年収の変化



出典：「2014年 中小企業・小規模事業者の人材確保と育成に関する調査」(中小企業庁委託(株)野村総合研究所)